

令和
2年度

酒々井の町づくり

予算の説明

主な事業内容を説明します

- 6つの基本目標ごとに取り組んでいきます

人 自然 歴史が調和した活力あふれるまち 酒々井

=目次=

目標1 子どもから高齢者まで誰もがいきいきと輝くまちづくり(健康福祉)

1~13ページ

目標2 豊かな心を育み歴史を活かした文化創造のまちづくり (教育文化)

14~26ページ

目標3 いつも安全で安心して快適に暮らせるまちづくり (生活環境)

27~30ページ

目標4 生活機能の整った歩いて暮らせるまちづくり (都市基盤)

31~33ページ

目標5 にぎわいと活力にみちた魅力あるまちづくり (産業経済)

34~37ページ

目標6 町民と共に築く心がかよう持続可能なまちづくり (地域社会と行財政)

38~43ページ

各特別会計、水道・下水道事業

44~47ページ

資料の見方

- 目標1 子どもから高齢者まで誰もがいきいきと輝くまちづくり(健康福祉)
この目標は総合計画における将来都市像を実現するための6つの基本目標の一つです

新規

- これは、その年度の新たな事業です

酒々押独自

- これは、町が独自で行っている事業です

◆〇〇〇事業◇ 12,345千円(△△課)

(財源:国県支出金6,789千円 一般財源5,556千円) 財

- 「〇〇〇事業」に係る予算額及び担当課を記載しています
- 一般財源とは、「〇〇〇事業」に係る財源内訳のうち、皆様から納められる税金や地方交付税等です。

目標1 子どもから高齢者まで誰でもいきいきと輝くまちづくり(健康福祉)

子育て支援等の施策

一部酒々井町独自

◆子ども医療費助成事業◇ 58,318千円(こども課)

(財源：国県支出金14,594千円 一般財源43,724千円)
保健の向上及び経済的負担の軽減を図るため中学生までの医療費の自己負担分を助成します。

◆児童手当支給事業◇ 259,381千円(こども課)

(財源：国県支出金217,642千円 一般財源41,739千円)
中学校3年生までを対象に、児童手当を支給します。

受給できる方：子どもを養育する父母等

児童手当の額：

3歳未満	月額	1万5千円
3歳から小学校6年生まで		
第1子・第2子	月額	1万円
第3子以降	月額	1万5千円
中学生	月額	1万円

所得制限以上の場合の児童手当の額： 一律 月額 5千円



◆ひとり親福祉推進事業◇ 3,908千円(健康福祉課)

(財源：国県支出金1,636千円 一般財源2,272千円)

*ひとり親家庭等医療費助成 3,720千円

ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図るため医療費等の自己負担分の一部を助成します。

対象：母子家庭の母、父子家庭の父、児童の養育者及び18歳に達する日以後の最初の年度末までの児童(所得制限あり)

助成内容：保険適用分のみ対象(一部負担金あり)

*酒々井町母子寡婦福祉会補助金 85千円

母子寡婦福祉会の活動を支援するため助成します。

◆中央保育園運営事業◇

47,731千円(こども課)

(財源：国県支出金1,090千円 一般財源40,519千円 その他6,122千円)
町立中央保育園の運営を行います。

◆岩橋保育園運営事業◇

98,951千円(こども課)

(財源：国県支出金1,160千円 一般財源74,056千円 その他23,735千円)
町立岩橋保育園の運営を行います。

◆保育委託事業◇

224,915千円(こども課)

(財源：国県支出金154,828千円 一般財源69,552千円 その他535千円)
町立保育園以外の保育園等へ保育を委託します。

幼児教育・保育無償化に伴い、町内外私立幼稚園や認可外保育所等又は子育てのための施設等利用給付認定を受けた園児の保護者へ、施設等利用費を支給します。

◆子ども・子育て支援事業◇

33,096千円(こども課)

(財源：国県支出金13,618千円 一般財源19,437千円 その他41千円)
子育て家庭の包括的な支援及び子どもの健全な育成に資するため、保健センターと連携を図りながら、酒々井町子育て支援センター等において、子ども・子育て支援事業を実施します。

第2期酒々井町子ども・子育て支援事業計画を推進します。

<子ども・子育て支援事業>

*地域子育て支援拠点事業(保育士等による、子育て中の親子の交流促進や育児相談等)

・あいあい(公設)・しょうえんこどもこそだてルーム(委託)

*ファミリー・サポート・センター事業(子育ての相互援助活動の連絡調整)

*利用者支援事業(身近な場所での教育・保育に関する相談等)

◆放課後子ども教室事業◇

3,207千円(こども課)

(財源：国県支出金870千円 一般財源2,337千円)
様々な体験等を通して児童の健全育成を図るため、小学校の体育館などを活用し、地域の方々の協力を得て、放課後子ども教室を開催します。

酒々井小学校・大室台小学校…週1回開催



◆放課後児童クラブ事業◇

56,428千円(こども課)

(財源：国県支出金34,818千円 一般財源21,610千円)

昼間、就労等により保護者がいない小学生を対象に、町内3ヶ所において、放課後の安全な居場所を提供するとともに、遊びや学習等の支援を行い、児童の健全な育成を図ります。

- *酒々井小学校放課後児童クラブ
- *大室台小学校放課後児童クラブ
- *昭苑学童クラブ

社会福祉施策

◆社会福祉一般事務費◇

90,072千円(健康福祉課)

(財源：一般財源77,031千円 その他13,041千円)

*ふれ愛タクシー運行事業

26,617千円

高齢者などの日常生活の向上を図るため、ふれ愛タクシーを運行します。

利用料：町内1回につき300円・町外1回につき500円(利用券事前購入)

※町外は成田赤十字病院、日医大北総病院、さくら斎場のみ

利用時間：午前8時から午後5時

※詳しくは、酒々井町社会福祉協議会

電話 496-6635

※予約は、ふれ愛タクシー情報センター

電話 481-6000



*福祉団体助成事業

43,018千円

福祉団体の活動を支援するため助成します。

- *酒々井町社会福祉協議会事業補助金 42,368千円
- *酒々井町遺族会補助金 100千円
- *蛸雪学園運営補助金 500千円
- *酒々井町更生保護女性会補助金 50千円

◆民生委員児童委員活動事業◇

1,163千円(健康福祉課)

(財源：国県支出金131千円 一般財源1,032千円)

町民の心配ごとなどを解決するために、専門機関の紹介や行政とのパイプ役として、子どもから高齢者までの相談役となっている民生委員児童委員の活動を支援します。

障害福祉施策

◆障害者福祉事業◇

50,724千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金17,728千円 一般財源32,996千円）

*重度心身障害者医療費給付事業 30,000千円

重度の障害者の経済的負担の軽減を図るため、医療費の自己負担分の一部を助成します。

対 象：1級又は2級の身体障害者手帳所持者、Aの2以上の療育手帳所持者（一定所得以上の方は、対象外）。ただし、65歳以上で新たに助成対象の障害者手帳が交付された者を除く。

*福祉タクシー事業 700千円

重度の身体障害者、知的障害者がタクシーを利用する場合、料金の1/2を助成します。ただし、助成額の上限は1,000円です。

対 象：1級又は2級の身体障害者手帳所持者（下肢、体幹、視覚障害者は3級も対象）
Aの2以上の療育手帳保持者

助成内容：割引券＝年間30枚（透析者は60枚）

※運転手に身体障害者手帳又は療育手帳を提示し、割引券を渡してください。（町登録
タクシー会社のみ利用可）

*ねたきり身体障害者・重度知的障害者福祉手当支給事業 727千円

ねたきりの身体障害者や重度の知的障害者に福祉手当を支給します。

対 象：6か月以上ねたきり状態の20歳以上65歳未満の身体障害者
在宅で常時介護を必要とする20歳以上で、療育手帳Aの2以上の知的障害者
（ただし、障害児福祉手当・特別障害者手当等の受給者は除く。）

助成内容：月額8,650円

*指定難病見舞金支給事業費 5,040千円

指定難病の方に見舞金を月額3,000円支給します。

*紙おむつ支給事業 1,772千円

身体・知的障害者の方に、1月あたり3,000円相当の紙おむつ等を支給します。

*福祉団体助成事業 750千円

福祉団体の活動を支援するため助成します。

*酒々井町心身障害者福祉会補助金 150千円

*酒々井町手をつなぐ親の会補助金 600千円



◆障害者総合支援事業◇

320,616千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金237,108千円 一般財源83,508千円）

障害者に介護給付費、訓練等給付費、障害者医療費、補装具費を給付します。

対 象：身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児、難病等の方

*介護給付費、訓練等給付費 198,000千円

*介護給付費…居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、療養介護、生活介護、短期入所、重度障害者等包括支援、施設入所支援

*訓練等給付費…自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援、自立生活援助、共同生活援助

*障害者医療費 47,000千円

*補装具費 2,402千円

*地域生活支援事業 19,642千円

障害者の生活を支援するため、相談支援、意思疎通支援、日常生活用具給付等、手話奉仕員養成研修、移動支援、地域活動支援センター、訪問入浴サービス、日中一時支援を行います。

対 象：身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児、難病等の方

*障害児給付費 50,000千円

児童発達支援、放課後等デイサービス等の障害児通所支援を行います。



高齡者福祉施策

◆老人福祉事業◇

35,135千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金893千円 一般財源34,241千円 その他1千円）

*生きがいデイサービス事業 6,297千円

介護保険の認定を受けていない60歳以上の方を対象に隣保館、中央公民館を会場に、毎週火曜日・水曜日・金曜日にそれぞれ定員30名でデイサービスを行います。

対 象：介護保険の認定を受けていない60歳以上の方で、自ら通えることができる方



*緊急通報装置貸与事業 3,313千円

65歳以上のひとり暮らし高齢者、ひとり暮らしの重度身体障害者、高齢者世帯で世帯に属する者のいずれかが介護認定者又は重度身体障害者である場合、緊急通報装置を貸与します。

***はり・きゅう・マッサージ等施術利用料助成事業 9,000千円**

はり・きゅう・マッサージの利用券を交付します。

対 象：65歳以上の方

助成内容：利用券1月当たり2枚（1枚当たり1,000円）

***福祉タクシー事業 1,300千円**

要支援2又は要介護認定を受けている方がタクシーを利用する場合、料金の1/2を助成します。ただし、助成額の上限額は1,000円です。

対象者：要支援2以上の方

助成内容：割引券＝年間30枚

※運転手に介護保険被保険者証を提示し、割引券を渡してください。（町登録タクシー会社のみ利用可）

***紙おむつ支給事業 2,000千円**

65歳以上の方で、要介護1・2の市町村民税非課税世帯又は要介護3以上の方*に対して、1月あたり3,000円相当の紙おむつ等を支給します。（※所得制限あり）

***老人福祉大会事業 2,314千円**

75歳以上の方を招待して、88歳の方への顕彰状贈呈式や演芸会を酒々井町社会福祉協議会と共催で開催します。

***80歳の青年式事業 361千円**

80歳の方を招待して、80歳の青年式を開催します。

***酒々井町水仙クラブ連合会補助金 1,450千円**

水仙クラブ連合会の活動を支援するため助成します。

***高齢者外出支援タクシー利用助成事業 2,442千円**

運転免許証を有していない満75歳以上の方等の外出を支援するため、タクシー利用助成券を交付します。

***高齢者運転免許証自主返納支援事業 200千円**

運転免許証を自主返納された方で、自主返納時の年齢が70歳以上75歳未満の方に対し、外出を支援するため、タクシー利用助成券を交付します。（交付は、1人1回限り）

***結婚50周年夫婦記念品支給事業 1,400千円**

婚姻後50周年を迎えた夫婦に対し、記念品を贈ります。

◆生きがい創造支援事業◇

1,480千円（住民協働課）

（全額一般財源）

高齢者の生きがい支援として、豊かな経験と能力を積極的に活かすための就業を援助し、健康増進に資するシルバー人材センターの機能充実にに向けた支援を行います。



◆後期高齢者医療事業◇

240,641千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金29,100千円 一般財源206,155千円 その他5,386千円）

75歳以上の方が加入する後期高齢者医療保険に関する経費や健康増進並びに医療費の適正化を図るために、千葉県後期高齢者医療広域連合から委託を受けた、後期高齢者を対象とした健康診査を実施するとともに、病気の早期発見と早期治療に役立つため、人間ドック費用の一部を助成します。



*療養給付費負担金	172,814千円
*広域連合負担金	13,378千円
*後期高齢者医療特別会計繰出金	41,532千円
*健康診査	4,336千円
*人間ドック費用の助成	8,581千円

国民年金事業

◆国民年金一般事務費◇

1,088千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金1,039千円 一般財源49千円）

国民年金の資格取得届、免除申請、裁定請求等の受付と日本年金機構への報告及び送付を行います。また、国民年金に関する相談と年に6回社会保険労務士による年金全般の相談を実施します。

これらの年金相談や届出時の説明により、年金制度の意義・役割の周知と保険料納付の促進を図っていきます。

健康づくり施策

◆保健センター 一般事務費◇

9,954千円(健康福祉課)

(財源: 国県支出金105千円 一般財源9,849千円)

*夜間医療体制等の確保

3,367千円

夜間、日曜日・祝日及び年末年始の医療、小児初期急病診療サービスを確保します。

【印旛市郡小児初期急病診療所】(0~15歳)

診療日	診療時間
月～土曜日	19時～翌日6時
日曜日・祝日 12月29日～1月3日	9時～17時、19時～翌日6時

場 所: 佐倉市江原台2-27 (佐倉市健康管理センター内)

電 話 043-485-3355



【成田市急病診療所】

診療科目・日時

診療科目	診療日	診療時間
内科・小児科	月～土曜日	19時～23時
	日曜日・祝日	10時～17時
	8月13日～15日・12月29日～1月3日	19時～23時
外科	日曜日・祝日	10時～17時
	8月13日～15日・12月29日～1月3日	10時～17時
歯科	祝日・振替休日	10時～17時
	8月13日～15日・12月29日～1月3日	10時～17時

場 所: 成田市赤坂1-3-1 (成田市保健福祉館内) 電話 0476-27-1116

【救急医療機器整備事業助成】

成田赤十字病院の救急医療機器整備事業に助成し、救急医療体制の充実を図ります。

*骨髄等移植ドナー支援事業

白血病などの血液疾患の治療に必要な骨髄・末梢血幹細胞提供者(ドナー)の増加や移植の推進を目指して、ドナーおよびドナーが勤務する国内の事業所に助成金を交付します。

助成額	ドナー	事業所
(いずれも7日を上限とする)	2万円/1日	1万円/1日

◆予防接種事業◇

47,180千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金1,617千円 一般財源45,563千円）

乳幼児、学童、生徒及び65歳以上の方等に対して予防接種を行い感染症の流行防止と個人の健康管理に努めます。また、2019年度～2021年度において、特定の年齢の男性に対し、風しん追加的対策として、抗体検査と予防接種を無料で行います。

独自事業として、2歳から18歳までの方のうち未接種の方を対象に麻しん・風しんの予防接種を行います。また、妊婦の風しん感染予防のため18歳以上の未接種の方を対象に風しん予防接種の助成を行います。

	対 象	内 容	実施場所	費 用
定期 接 種	乳幼児	百日せきジフテリア破傷風ポリオ混合・麻しん風しん混合・BCG・ポリオ・日本脳炎・ヒブ・小児肺炎球菌・水痘・B型肝炎	医療機関	無料
	小学6年生	ジフテリア破傷風混合	医療機関	無料
	中学1年生～高校1年生（女子）	子宮頸がん	医療機関	無料
	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性のうち、風しん抗体価の低い者	麻しん風しん混合	医療機関	無料
	65歳以上希望者	インフルエンザ	医療機関	助成額3,100円
	65歳以上で5歳刻み未接種者	成人肺炎球菌	医療機関	助成額4,500円
任意 接 種	2歳～18歳未満の未接種者	麻しん風しん混合	医療機関	無料
	18歳以上の未接種者 ※詳しくは、お問い合わせください。（詳細条件あり）	麻しん風しん混合 風しん	医療機関	助成額5,000円 助成額3,000円



◆健康増進事業◇

28,947千円（健康福祉課）

◆結核健康診断事業◇

1,395千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金2,145千円 一般財源24,552千円 その他3,645千円）

保健センターを主な会場に、がん検診、健康教育、健康相談の健康増進事業を行います。また、乳がん、子宮頸がん、大腸がんの無料検診を対象年齢の方に行います（無料クーポン券による検診）。

さらに、町民の健康に対する意識を高め、健康的な生活習慣の実践のきっかけをつくる事を目的に健幸ポイント事業を行います。

*健康教育…糖尿病予防教室、ヘルスアップセミナー

*健康相談…保健センター（毎週月曜日9：30～11：00）

*健康手帳…検診時に交付（20歳以上の方）

項 目	対 象	実施時期	申込先、 受診会場	自己負担	
乳がん検診	マンモグラフィ	40歳代奇数	6～7月	保健センター	1,000円
		50歳以上	9～12月 (予定)	医療機関	2,000円
	エコー	40 45 50 55 60歳	6～3月	保健センター 医療機関	無料 (クーポン券)
		30歳代 40歳代偶数	6～7月	保健センター	1,000円
			9～12月 (予定)	医療機関	2,000円
		子宮頸がん検診	20歳以上	6～7月	保健センター
9～12月 (予定)	医療機関			2,000円	
20 25 30 35 40歳	6～3月		保健センター 医療機関	無料 (クーポン券)	
胃がん検診	40歳以上	10月	保健センター	1,000円	
大腸がん検診	40歳以上	10月	保健センター	300円	
		9～12月	医療機関	700円	
	40 45 50 55 60歳	9～3月	保健センター 医療機関	無料 (クーポン券)	
結核・肺がん検診	40歳以上	10月	保健センター	300円	
肝炎ウイルス検診	40歳以上	9～12月	保健センター 医療機関	無 料	
骨粗しょう症 予防検診	30 35 40 45 50 55 60 65 70歳(女性)	12月	保健センター	500円	
成人歯科検診	40歳以上	6～12月	医療機関	無 料	

事業名	対象	実施場所	内容
健幸ポイント事業 酒々井町独自	20歳以上の町民	保健センター	健康づくりのための保健センターや生涯学習課が実施している「教室や運動への参加」「特定健診・がん検診の受診」などに対して、ポイントを付与し特典を交付します。



◆母子保健推進事業◇

19,477千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金316千円 一般財源19,161千円）

妊婦健診、乳幼児健診、マタニティ・ママパパクラス、訪問指導、心理発達相談などの母子保健事業を通して切れ目のない支援を行います。さらに、安心して妊娠、出産、子育てが行えるよう、こども課と連携して包括的な支援（★印）を行います。

「ママ・パパ歯科検診」を妊婦とその配偶者に行うことで、家族の生涯にわたる口腔の健康の維持・増進を図ります。

不育症で治療を受けているご夫婦に治療費の一部を助成し経済的負担の軽減を図ります。



事業名	対象	実施場所	実施期間	費用	内容
母子健康手帳交付	妊婦	保健センター	通年	無料	手帳の交付時、保健師が面接し、安心して出産育児ができるようケアプランの作成をします。
妊婦・乳児支援タクシー事業 酒々井町独自	妊婦・乳児 （1歳までのお子さんと母親）	協力機関	通年	一部公費負担	健診等で通院する際にその料金の一部を助成するタクシー利用券を交付します。
妊婦・乳児 一般健康診査	妊婦 乳児	県内医療機関 （委託）	通年	一部公費負担	健やかな妊娠・出産と乳児の良好な発育を図るため、母子健康手帳と一緒に受診票を交付します。 妊婦1人14回・乳児1人2回

事業名	対象	実施場所	実施期間	費用	内容
★利用者支援事業 (母子保健型)	妊婦 産婦 乳幼児	保健センター	通年	無料	妊娠届時に親子すこやかプランを妊婦1人ひとりに作成し、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を行います。
★マタニティ ・ママパパクラス	妊婦と家族	保健センター 子育て支援センターあいあい(4回目)	1コース5回 年3コース	無料	妊娠、出産に対する不安を軽減し妊婦同士の交流を図るために行います。
ママ・パパ歯科検診 	妊婦とその配偶者	町内医療機関(委託)	通年	無料	妊婦とその配偶者、生まれてくる赤ちゃんの口の健康づくりを目的にむし歯・歯周病検診を行います。受診票は母子健康手帳と一緒に交付します。1人1回
新生児・ 産婦訪問指導	新生児 産婦	町内各家庭	通年	無料	新生児の発育・栄養・疾病予防・保育環境等について助産師・保健師が訪問指導を行います。
こんにちは 赤ちゃん事業 	4か月児	町内各家庭	通年	無料	健康推進員と連携して、生後4か月のお子さんがある家庭を訪問し、子育ての状況を把握しながら安心して子育てができるよう、適切なサービス提供につなげます。
乳児相談	4か月児 10か月児	保健センター	年12回	無料	乳児の健やかな発育を促し保護者の育児不安の軽減を図るため、身体計測、個別の相談(保健師、栄養士、歯科衛生士)を行います。
出生祝品の配布 (ブックスタート) 	4か月児	保健センター	年12回	無料	乳児相談(4か月児)にボランティアから絵本の紹介を受け、乳児の健やかな発育を促すために絵本を配布します。
幼児健康診査	1歳6か月児 3歳児	保健センター	年各6回	無料	幼児のよりよい成長発育を促すとともに、保護者の育児不安の軽減を図るため、医師、歯科医師による健康診査、個別相談(保健師・栄養士)を行います。
2歳児歯科健康診査	2歳児	保健センター	年4回	無料	歯の健康づくりを目的に、歯科医師による歯科健診、健康教育、フッ化物塗布、個別相談を行います。

事業名	対象	実施場所	実施期間	費用	内容
なかよしはみがき 教室	保育園児 幼稚園児	保育園 幼稚園	年4回	無料	歯の健康教育とブラッシング指導を行います。
幼児健診 事後指導教室 (遊びの教室 どんぐり)	幼児 保護者	保健センター	年12回	無料	親子の良好な関係づくり、幼児の健やかな発育を促すため、親子遊びや家庭での養育の助言等を行います。
心理発達相談 (親子相談)	幼児 保護者	保健センター	年12回	無料	こどもの発達やしつけなどについて個別の相談を行い、育児不安の軽減、こどものよりよい成長を促します。
ことばの教室プラム	3歳6か月～ 未就学児	保健センター	年28回	無料	こどものことばの発達について個別に相談と指導を行います。
不育症治療費助成 事業 酒々井町独自	詳しくはお問 い合わせくだ さい*所得制 限有			1治療 30万円 上限	不育症で治療を受けているご夫婦に治療費の一部を助成します。
養育支援訪問事業	養育支援が必 要と認めた家 庭	町内各家庭	通年	無料	養育が適切に行われるよう保健師等が訪問し、相談指導、助言等を行います。
★あいあい子育て 講話	妊婦、産婦、乳 幼児	子育て支援セ ンターあいあ い	年11回	無料	保健師、歯科衛生士による子育て講話等を行います。

幼稚園と小・中学校の施策

一部酒々井町独自

◆私立幼稚園補助事業◇

270千円(こども課)

(財源：一般財源270千円)

*私立幼稚園運営費・教材費補助事業 270千円

町内の私立幼稚園(子ども・子育て支援法の確認を受けた私立幼稚園を除く。)に運営費及び教材費を補助します。

*運営費補助金	1園当たり	20万円	
*教材費補助金	園児(町内在住)	1人当たり	1千円



◆教育総務一般事務費(学校教育課)◇ 69,122千円(学校教育課)

(財源：国県支出金506千円 一般財源68,530千円 その他86千円)

*特別支援学級介助員配置事業 5,162千円

小学校の特別支援学級に在籍する児童の学習活動や学校生活の支援・補助を行うため、介助員を配置します。

酒々井町独自

*学習指導等専門支援員配置事業 8,045千円

特色ある教育活動を支援するための支援員を小・中学校に配置します。

酒々井町独自

*教育アドバイザー配置事業 4,229千円

国際交流事業やALT(外国語指導助手)の活用を図ることと、帰国子女等への日本語指導を行うアドバイザーを小・中学校に派遣します。

酒々井町独自***学習活動支援員（介助員）配置事業 5,186千円**

小・中学校へ通う肢体不自由等の理由から特別に支援を要する児童生徒個人を支援するため介助を目的とした支援員（3人）を各小・中学校（2校）に配置します。

酒々井町独自***学習活動支援員（理科専属）配置事業 1,292千円**

小学校5・6年生の理科の授業を中心に観察・実験活動の充実を図るため、理科専属の臨時職員（1人）を2校に配置します。

***部活動指導員配置事業 931千円**

生徒の心身を鍛え、健やかな成長を促し、部活動支援事業の積極的な推進を図るため、部活動指導員2名を配置し、中学校における部活動の充実を図ります。

新規***学校保健支援教員配置事業 3,051千円**

拠点となる学校に学校保健支援教員1名を配置し、養護教諭が校外学習等で不在の時になど、学校へ出向き保健室の対応を行います。

また、学校集団検診等の補助、記録の入力など養護教諭を補佐します。

酒々井町独自***スクールバス運行業務委託事業 14,221千円**

酒々井小学校の遠距離通学の児童に対して、町ふれ愛タクシーをスクールバスとして委託し、馬橋、墨、伊篠、伊篠新田地区等の児童の交通手段を確保します。

なお、平成29年度からは、町ふれ愛タクシー（3台）と町所有（1台）の合計4台で運行しています。

酒々井町独自***教職員の特色ある教育研究支援事業 400千円**

小・中学校の特色ある教育研究の積極的な推進を図るため、学校の教職員が提案する教育プランにおいて、児童生徒への教育効果が期待できる内容に対し補助金を交付します。

***教科用図書・指導書購入事業 10,610千円**

小・中学校で使用する教科用図書が4年に1度大幅な改訂をするにあたり、学校の教職員が使用する指導書を購入します。また、タブレット等を使用した授業に対応するための指導者用デジタル教科書を配備し、児童生徒への授業効果、効率を図ります。

酒々井町独自

*人権・同和教育研究補助金

200千円

人権・同和教育の推進を図るため、町教育委員会が指定した小学校又は中学校の研究指定校に対し、研究活動費として補助金を交付します。

酒々井町独自

*保小中連携事業活動補助金

300千円

小一プロブレム、中一ギャップの解消を図るため、保育園(こども園)・小学校・中学校で相互の連携を促進し、学習の継続性や接続の円滑化を図るほか、生徒指導及び学習指導についての改善を進めるため、保小・小中の連携部会に対し、補助金を交付します。



◆児童生徒国際交流振興事業◇

28,463千円(学校教育課)

(財源：一般財源19,283千円 その他9,180千円)

【外国語教育】

17,320千円

令和2年度より新学習指導要領に準拠した小学校外国語科・外国語活動が実施されます。今年度から5・6年生は教科として指導することになるため、学習指導や、学習評価を実践研究しつつ、学校職員への研修も行える英語専科教員(2人)を配置します。

また、小・中学校に1名ずつ配置しているALT(外国語指導助手)を活用した支援を行い、ネイティブな英語にふれることを通して、学習意欲、異文化理解及びコミュニケーション能力を高め、児童生徒の確かな学力を育みます。さらにALTの配置により、保育園(こども課：業者委託 週1回 3～5歳児対象)で養われた英語力を小学校で途切れることなく中学校へつなげることで一貫した外国語教育を実施します。

【国際交流事業】

世界で活躍できるグローバル人材を育成するため、町内小・中学校において国際理解教育に力を入れており、国際交流事業として「派遣事業」を毎年、「受入れ事業」を隔年で実施します。



○派遣事業

8,280千円

酒々井中学校生徒をオーストラリア及びドイツへ派遣し、ホームステイや学校での体験学習を通して、英語力等のコミュニケーション能力を育成します。

また、その国の文化や言語、生活習慣などを学び、異文化理解を深めます。

○受入れ事業

855千円

酒々井中学校生徒がドイツ派遣で交流のあったドイツ校の生徒を受入れることにより英語力等のコミュニケーション能力を育成します。また、酒々井中学校での体験学習やホームステイを通して、日本の文化や言語、生活習慣などを伝えながら異文化理解を深めます。

酒々井町独自**◆ふれあい教室運営事業◇****2, 129千円（学校教育課）**

（全額一般財源）

教育委員会に適応指導教室「ふれあいルーム」を設置し、不登校児童生徒等を対象にカウンセリングや学習指導、小集団活動等を取り入れ、集団適応と学校復帰を支援します。

酒々井町独自**◆学校図書館推進事業◇****2, 478千円（学校教育課）**

（全額一般財源）

児童生徒の生涯にわたる読書習慣の形成と学校図書館活用能力の育成を図るため、町公立図書館と学校図書館との連携を推進するとともに、学校図書館の機能の充実と児童生徒の図書館活用のための支援を行います。

地方創生関連事業**酒々井町独自****◆酒々井学学習プログラム事業◇****1, 500千円（学校教育課）**

（財源：国県支出金750千円 一般財源750千円）

小・中学校の地域学習・地域活動への支援をするために、行政組織との連絡調整や地域学習等の教材開発を通じた「酒々井学」の学習プログラムを作成・実施し、子どもたちや教員の酒々井町に対するふるさと意識を育むための資質能力の向上を図ります。

各小・中学校が独自に取り組んでいる酒々井町の人権教育や地域学習について、その関連性や系統性を整理し、**酒々井町の特色ある教育活動として計画的に推進**するために子ども向け副読本「いいね！酒々井」を活用します。

また、酒々井町の歴史を実際に見て聞いて学習するために小学校へ設置した郷土資料館の充実を図り、県立博物館等と連携した町の行事や生涯学習等の講座をサポートすることで、町民の学習機会の充実を図り、ふるさと意識の啓発を行います。

新規***「酒々井発見伝(指導用資料集)」****1, 200千円**

酒々井学を、町全体で実践し、子どもの酒々井町に対するふるさと意識の向上につなげるため、目から酒々井町の歴史を学ぶことを目的に指導用資料集を作成します。

◆酒々井小学校教育振興事業（学校教育課）◇8,986千円（学校教育課）

（財源：国県支出金421千円 一般財源8,324千円 その他241千円）

酒々井町独自

*酒々井小学校水泳指導委託事業 2,929千円

酒々井小学校のプールは老朽化により使用できないため、水泳指導（送迎を含む）について民間企業に業務委託します。

酒々井町独自

*豊かな心を育むCTSプラン事業補助金 200千円

学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、小学校に補助金を交付します。

（注）CTSは、Child, Teacher, School・Societyの略。

*要保護・準要保護就学援助費支給事業 3,104千円

経済的理由により、就学困難と認められる児童の保護者に対し就学援助を行います。

◆酒々井小学校教育振興事業（酒々井小）◇4,317千円（学校教育課）

（全額一般財源）

*酒々井小学校教育活動の充実 2,500千円

酒々井小学校の教材備品や学校図書の実を図ります。

◆大室台小学校教育振興事業（学校教育課）◇3,874千円（学校教育課）

（財源：国県支出金277千円 一般財源3,430千円 その他167千円）

酒々井町独自

*豊かな心を育むCTSプラン事業補助金 200千円

学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、小学校に補助金を交付します。

*要保護・準要保護就学援助費支給事業 1,828千円

経済的理由により、就学困難と認められる児童の保護者に対し就学援助を行います。

◆大室台小学校教育振興事業（大室台小）◇ 4,116千円（学校教育課）

（全額一般財源）

*大室台小学校教育活動の充実 2,500千円

大室台小学校の教材備品や学校図書の実を図ります。

◆中学校教育振興事業（学校教育課）◇ 10,482千円（学校教育課）

（財源：国県支出金398千円 一般財源9,837千円 その他247千円）

酒々井町独自

*パワーアップE 767千円

国際交流を推進し、国際理解教育を向上させる中で、広い視野で思考する力を養い、主体的に発信する能力を育成することを目的に町立中学校の3年生全生徒に対して、英語検定の検定料を一人年1回全額助成します。

酒々井町独自

*中学校部活動事業補助金 1,000千円

中学校の部活動の中で対外的な試合や大会などへの参加に要する費用等を援助するため、中学校に補助金を交付します。

酒々井町独自

*豊かな心を育むCTSプラン事業補助金 300千円

学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、中学校に補助金を交付します。

*要保護・準要保護就学援助費支給事業 5,175千円

経済的理由により、就学困難と認められる生徒の保護者に対し就学援助を行います。

◆中学校教育振興事業（酒々井中）◇ 4,757千円（学校教育課）

（全額一般財源）

*酒々井中学校教育活動の充実 2,500千円

酒々井中学校の教材備品や学校図書の実を図ります。

◆給食センター管理事業◇

9, 167千円（給食センター）

（全額一般財源）

学校給食センターの運営及び施設設備の維持管理を行います。

学校給食費を公費化し、保護者の利便性の向上や教職員の事務の負担軽減、会計の透明性や公平性の確保を図ります。

- | | |
|------------------|----------|
| * 施設設備保守点検委託料 | 3, 235千円 |
| * 給食費収納管理システム賃借料 | 685千円 |

◆給食事業◇

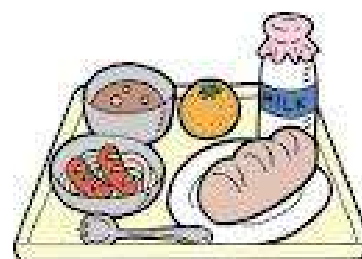
171, 673千円（給食センター）

（財源：一般財源88, 900千円 その他82, 773千円）

学校教育における児童・生徒の心身の発達のための食を提供します。また、学校給食を通して子どもたちに食の理解や地域社会の環境や文化、栄養改善及び健康の増進、社会性や食事のマナーを身につける等の教育効果を図ります。

経年劣化が著しい調理施設設備について機器の修繕や交換を行います。

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| * 学校給食賄材料費
（地元食材購入費 8, 261千円含む。） | 91, 017千円 |
| * 学校給食調理配膳業務委託料 | 49, 750千円 |
| * 学校給食配送業務委託料 | 12, 609千円 |
| * 給食調理機器設備更新事業 | |
| ・調理場内排気ファン工事（2箇所） | 2, 945千円 |
| ・皮むき器等更新 | 845千円 |
| * （歳入）第3子以降学校給食費免除制度 | △7, 254千円 |



国指定史跡 本佐倉城跡の整備

酒々井町独自

◆本佐倉城跡保存整備事業◇

11,937千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金2,726千円 一般財源1,111千円 その他8,100千円）

史跡本佐倉城跡の保存・活用のための史跡整備事業を行います。

令和2年度は城山郭等の危険木・障害木の一部伐採を継続して行います。

周知・普及事業としては佐倉市と共催で講師を招いての講演会・城跡見学会を行うほか、入口広場案内所内に展示パネル等の作成を行います。

また、これまで行ってきた調査の概要を庁舎、公民館などでの展示を継続して行います。



歴史・文化の保全

酒々井町独自

◆まちの顔づくり推進事業◇

660千円（生涯学習課）

（全額一般財源）

江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を行い、観光資源として活用すると共に、交流人口の増加を図ります。

令和2年度は、観光拠点である「相川文字家」および「下がり松」の管理事業を実施します。



酒々井町独自

◆町内埋蔵文化財調査事業◇

2,582千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金1,350千円 一般財源1,232千円）

遺跡の適切な記録保存を図るため、個人住宅の建設に伴い実施された発掘調査の調査報告書の作成・刊行作業を行います。

また、経年劣化により腐食が進む町内の遺跡から出土した金属製品について保存処理業務を行います。

酒々井町独自

◆墨古沢遺跡保存整備事業◇

5,824千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金292千円 一般財源5,532千円）

令和元年10月に日本最大級の旧石器時代の「環状ブロック群」として国史跡となった墨古沢遺跡について、今後の保存・整備・利活用に向けた保存整備事業を進めていきます。

令和2年度は、遺跡を適切に保存・活用していくための基本方針やその方法、現状変更等の取扱基準の策定を目的とした『保存活用計画』の作成を前年度に引き続き実施するほか、計画策定を的確に進めるため有識者による保存活用計画策定委員会を継続して開催します。

周知・普及事業としては、これまでの調査・研究成果を公表するためのシンポジウムを開催するほか、引き続き墨古沢遺跡の展示会をコミュニティプラザで実施します。

地方創生関連事業

◆酒々井の伝説ものづくり事業◇

11,000千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金5,500千円 一般財源5,500千円）

昔の資産・記憶・民話等の地域の資源・宝を整理、見える化の為のデータ化等により後世へ伝承するとともに、町内外へ発信し、交流・関係人口の増進を図ります。

地方創生関連事業

◆地方創生拠点整備交付金事業◇

3,360千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金1,680千円 一般財源1,680千円）

（国の地方創生拠点整備交付金を活用）

本佐倉城跡入口広場整備事業に伴い観光案内所・トイレ、倉庫の建築工事及び監理業務を前年度から継続して実施し、また、事務・管理用の備品整備を行います。

生涯学習の施策

◆社会教育一般事務費◇

3,899千円（生涯学習課）

（全額一般財源）

- 1 家庭教育の充実を図るため、家庭教育指導員による家庭教育相談や小学校就学前の保護者、小・中学校の保護者を対象にそれぞれの家庭教育学級を開設します。
 - ・ローズマリー学級・酒々井小学校家庭教育学級・大室台小学校家庭教育学級・酒々井中学校家庭教育学級
- 2 人権教育を推進するため、人権教育セミナーを開催して人権意識の向上に努めます。
 - 人権教育セミナー（年間6回開催）参加自由

酒々井町独自

◆学校教育支援促進事業◇

3,227千円(生涯学習課)

(財源：国県支出金2,124千円 一般財源1,103千円)

町立各小・中学校に学校と地域ボランティアの調整役であるコーディネーターを配置するとともに、地域ボランティアとコーディネーターの活動拠点である地域ルームを設置し、学校教育支援を行います。



*地域未来塾

中学生に対して元教員などの地域住民の協力を得て学習習慣の確立と基礎学力の定着を図るため、学習支援を行います。(年35回程度)

酒々井町独自

◆土曜日の教育支援体制等構築事業◇

2,224千円(生涯学習課)

(財源：国県支出金1,462千円 一般財源762千円)

土曜日の教育活動充実のため、地域の豊かな社会資源を活用し、地域と連携した土曜日の教育支援を行います。

*酒々井小学校・大室台小学校児童を対象とした補習と講座…年17回程度開催

◆青少年健全育成事業◇

4,312千円(生涯学習課)

(財源：国県支出金65千円 一般財源4,247千円)

青少年健全育成を図るため、青少年相談員事業として各種事業を子ども会育成会連絡協議会と共催で開催します。

*子ども会対象事業：球技大会(ドッジボール大会)・体験教室・映画会

*青少年相談員事業：防犯パトロール・綱引き大会(スポレク祭)・釣り大会・伝統文化教室(たこ作り教室・たこあげ大会)・星空の映写会・オールナイトハイク・星空の観察会



◆青少年交流事業◇

4,636千円(生涯学習課)

(財源：一般財源3,811千円 その他825千円)

*北海道陸別町児童交流事業：日本有数の星空などの観光資源や美しい自然環境の中での体験学習を北海道陸別町で実施するとともに、陸別町の児童と交流を図ります。

*群馬県長野原町児童交流事業：酒々井町と同じ日本一古い歴史のある町として知られる長野原町の美しい大自然の中で野外活動体験を実施するとともに、長野原町の児童と交流を図ります。



酒々井町独自

◆公民館活動事業◇

6, 810千円（中央公民館）

（財源：一般財源6, 641千円 その他169千円）

酒々井町青樹堂（公民館主催事業）として各種講座の開催やイベントを行います。詳しくは、「公民館だより」や広報ニューしすいでご案内します。

【酒々井町青樹堂】

- ・特別講座
 - *しすい青樹堂（2年制）
- ・特選講座
 - *青樹堂師範塾（1年制）
- ・一般講座
 - *短期間講座（趣味・教養、親子向け、児童向けなど）
- ・自由講座
 - *文化祭、公開講座など



◆公民館管理事業 維持管理◇

26, 824千円（中央公民館）

（財源：一般財源20, 460千円 その他6, 364千円）

中央公民館の維持・運営をするための経常的経費です。

*光熱水費（電気・ガス・水道・灯油）	7, 924千円
*設備の保守管理委託等 （清掃・消防・冷暖房・エレベーター・自動ドア・警備）	5, 736千円
*窓口職員報酬・共済費	6, 865千円
*樹木剪定業務（公民館周辺高木剪定）	2, 772千円
*火災報知器・非常用放送設備改修	2, 365千円
*その他（電話代・修繕料・コピー代・消耗品代）	1, 162千円

◆公民館管理事業 施設整備◇

265,784千円(中央公民館)

(財源：国庫補助金140,322千円 地方債111,600千円 その他13,862千円)

中央公民館は、町民の学び舎であるとともに災害時の避難所にも指定されていることから、より安心・安全にお使いいただくため、国庫補助金・地方債を活用し大規模な施設整備を実施します。

この事業の実施により、平常時電気を節約し、また災害時に停電した際も、発電機能により平時と変わることなく、公民館の運営ができます。

*中央公民館施設整備事業

265,784千円

自立式ガス空調設備（ガスを熱源にする空調設備。停電時発電機能）

太陽光発電・蓄電池設備（太陽光で発電し、電力を蓄電池に貯め、平時災害時使用）

LED照明設備（電効果の高い照明機器）

キュービクル更新（高圧受電設備の更新）

アスベスト除去（施設内の天井・壁・床のアスベストを含む材料の除去）

◆プリミエール運営事業◇

22,865千円（プリミエール酒々井）

(全額一般財源)

プリミエール酒々井は、文化芸術をはじめとする生涯学習の向上及び推進を図るための文化ホールと図書館を併設した文化施設であり、町民の生涯学習の場、交流の場としての情報発信施設となるように運営しています。

*図書館電算システム

3,929千円

酒々井町立図書館は、図書館システム導入により、機器等の安定稼働の確保と、円滑な図書館業務の推進、住民サービスの向上を図ります。

*書籍購入

5,271千円

町民の読書や多様な学習要求に応えるため、図書・CD・DVDなど蔵書の充実を図ります。

また、図書などを短時間で検索できるよう、電算データにより管理を行います。



◆保健体育活動事業◇

8,148千円(生涯学習課)

(財源：全額一般財源)

生涯スポーツを推進するため、各種スポーツ教室・大会や、誰でも気軽に参加できる軽スポーツ種目を実施する「酒々井町ライトスポーツクラブ」を毎週水曜日に開催するほか、順天堂大学と連携し、親子スポーツ教室等を開催し、スポーツ・レクリエーションに親しむきっかけづくりの場を提供します。

1 各種大会

大会名	回数	開催予定
野球大会	年2回	4月・9月
卓球大会	年2回	5月・11月
ウォークラリー大会	年1回	5月
バレーボール大会	年1回	5月
バドミントン大会	年2回	6月・11月
印旛郡市民体育大会	年1回	7月
ソフトテニス大会	年1回	8月
ソフトボール大会	年1回	9月
町長杯少年野球大会	年1回	9月
町スポーツ・レクリエーション祭	年1回	10月
テニス大会	年1回	10月
ゴルフ大会	年1回	11月
空手道大会	年1回	12月
印旛駅伝競走大会	年1回	12月
町駅伝競走大会	年1回	1月
インディアカ大会	年1回	1月
町長杯少年サッカー大会	年1回	3月

2 各種教室

教室名	実施時期	対象者
オリンピック・パラリンピックを体験しよう	6月頃	中学生他
剣道教室	通年	小学生以上
柔道教室	通年	小学生以上
空手道教室	通年	小学生以上
サッカー教室	通年	小学生以上
テニス教室	5月・9月	20歳以上
ライトスポーツクラブ	通年	小学生以上
順天堂大学公開講座(親子スポーツ教室)	11月頃	小学生親子
順天堂大学連携「おとな」もスポーツテスト	11月頃	成人・高齢者

防 災

◆防災一般事務費◇

5,403千円 (総務課)

(全額一般財源)

災害時に備え総合防災訓練を実施するとともに、災害用備蓄品等の整備を図ります。

町内に結成された自主防災組織の育成及び活動を支援することを目的に、防災資機材の購入に際し支援を行います。

◆防災行政無線管理整備事業◇

51,684千円 (総務課)

(財源：地方債48,100千円 一般財源3,584千円)

老朽化した防災行政無線のデジタル化を図るため、機器の更新を行い災害時の情報伝達手段を確保します。

防災行政無線設備の正常な機能を維持するとともに、故障等の発生を未然に防止することを目的に保守点検業務を行います。

消 防

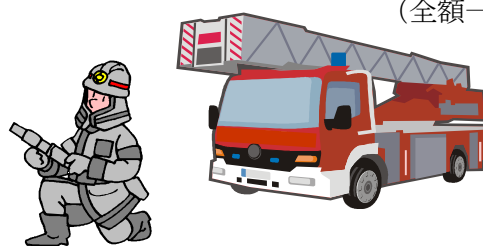
◆佐倉市八街市酒々井町消防組合負担金◇

479,034千円 (総務課)

(全額一般財源)

消防組合の運営に係る負担金です。

(構成市町：佐倉市、八街市、酒々井町)



◆消防団事業◇

11,144千円 (総務課)

(全額一般財源)

地域の安全確保に大きな役割を果たしている消防団については、消防操法訓練をはじめ各種訓練を実施し、消防団員の資質向上を図るとともに、消防技術の向上に努めます。

また、地域防災の中核を担う消防団員の確保、育成に努めます。

◆消防施設事業◇

12,221千円（総務課）

（財源：地方債6,700千円 一般財源5,520千円 その他1千円）
消防団装備品や消防機庫、消防車、防火水利等の維持管理及び防火水槽の設置を行います。

交通安全、防犯の施策

◆交通安全対策事業◇

2,786千円（まちづくり課）

（全額一般財源）
道路標識、ガードレール、カーブミラー、区画線などの交通安全施設の整備及び維持管理を行います。

◆防犯街灯事業◇

28,657千円（まちづくり課）

（全額一般財源）
町管理及び自治会等管理の防犯街灯の整備及び維持管理を行います。

*自治会管理防犯街灯補助

電気料補助 当該年度4月分電気料×12か月×70%

修理費補助 修理費×50%

新規設置等補助 工事費×50%（上限：共架25,000円・小柱40,000円）

◆防犯事業◇

3,243千円（総務課）

（全額一般財源）
自治会や防犯ボランティア団体による防犯パトロール等の活動拠点である駅前交流センターの運営管理を行います。

安全で安心なまちづくりの推進を図るため、犯罪の防止及び抑止を目的として、防犯啓発活動を実施します。

◆防犯ボックス事業◇

10,112千円（総務課）

（財源：国県支出金6,000千円 一般財源4,086千円 その他26千円）
警察官OBを配置した防犯ボックスを運営し、自治会及び防犯ボランティア団体との合同防犯パトロールや見守り、街頭監視を実施し、地域防犯力の向上と女性や子どもをはじめ、住民が安心して暮らせる地域づくりを推進します。

環境、ごみ、リサイクル、不法投棄

◆環境衛生対策事業◇

22,608千円（経済環境課）

（財源：一般財源21,993千円 その他615千円）

- ・狂犬病予防対策とし、狂犬病予防注射の管理、啓発を行います。
- ・飼い主のいない猫の避妊・去勢手術を実施した団体に補助金の交付を行います。
- ・葬祭組合の管理運営に係る負担金
（佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合構成市町：佐倉市、四街道市、酒々井町）

◆環境保全対策事業◇

1,314千円（経済環境課）

（財源：一般財源1,264千円 その他50千円）

- ・河川等の水質検査等の環境調査を行います。
- ・あき地に繁茂している雑草等の除去指導を行います。
- ・町内の放射線測定を行います。

◆再生可能エネルギー推進事業◇

4,550千円（経済環境課）

（財源：国県支出金2,200千円 一般財源2,350千円）

- ・家庭における地球温暖化対策促進のため、住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム（エネファーム）、定置用リチウムイオン蓄電池システムを設置する町民に補助金の交付を行います。



◆清掃一般事務費◇

4,827千円（経済環境課）

（財源：国県支出金120千円 一般財源4,707千円）

- ・町不法投棄監視員による廃棄物及び残土の不法投棄の監視を行うとともに、毎月1回の一斉パトロールを実施し、不法投棄の処理を行います。また、監視活動の強化及び町広報による管理意識啓発等を行い、不法投棄の未然防止に努めます。
- ・年1回5月にゴミゼロ運動を実施します。
- ・町の基本方針等を定めた災害廃棄物処理基本計画の策定を行います。

◆じん芥処理事業◇

170,909千円(経済環境課)

(財源：一般財源169,756千円 その他1,153千円)

- ・一般家庭から排出される廃棄物の収集を行います。
- ・ごみ集積所に設置されているごみ出しのルール看板の設置等を行います。
- ・リサイクルを推進するため、資源回収を行う団体等に対し報償金、また、事業者に対し奨励金を交付します。
- ・ごみ減量化及びリサイクルを推進するため、ペットボトルの拠点回収等を行います。
- ・生ごみの減量化を図るため、自家処理堆肥化容器(コンポスト)及び機械式生ごみ処理機を購入し設置する町民に補助金の交付を行います。
- ・清掃組合の管理運営及び建設等に係る負担金
(佐倉市、酒々井町清掃組合構成市町：佐倉市、酒々井町)



◆し尿処理事業◇

18,713千円(経済環境課)

(財源：国県支出金2,200千円 一般財源16,513千円)

- ・印旛沼の水質浄化と健全な印旛沼生態系の保全・再生に努めるため、補助対象区域内に高度処理型の合併浄化槽を設置する町民に補助金の交付を行います。
- ・衛生施設管理組合の管理運営等に係る負担金
(印旛衛生施設管理組合構成市町：佐倉市、四街道市、八街市、富里市、酒々井町)

まちづくり施策

新規

◆災害応急復旧事業◇

32,100千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金26,227千円 一般財源1,873千円 その他4,000千円)
令和元年台風15号、台風19号及び10月25日の大雨で住まいが被災し、罹災証明書により一部損壊と判定された住宅を修繕する場合、災害救助法の応急修理や住宅修繕の支援をします。

◆住宅耐震事業◇

2,329千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金1,493千円 一般財源836千円)
昭和56年5月31日以前に建築・着工された木造戸建て住宅の耐震化を促進するため、木造戸建て住宅の耐震診断、耐震改修工事及び耐震シェルター並びに耐震ベッド設置に係る費用の一部に対し、補助金を交付します。

◆住宅リフォーム補助事業◇

3,009千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金1,350千円 一般財源1,659千円)
町民の生活環境の向上及び町内産業の活性化・雇用の創出を目標とし、住宅のリフォーム工事又は雨水抑制施設設置に係る費用の一部に対し、補助金を交付します。

◆建築指導事業◇

5,112千円(まちづくり課)

- (財源：国県支出金2,500千円 一般財源2,580千円 その他32千円)
- ・狭あい道路拡幅整備
幅員4メートル未満の町道に接する後退用地や隅切り用地を町に寄付して頂く際、測量・登記及び拡幅整備を行います。
 - ・危険コンクリートブロック塀等改善補助事業
地震発生時におけるコンクリートブロック塀等の倒壊による被害を防止するため、危険なブロック塀等の撤去に係る費用の一部に対し、補助金を交付します。

町道の整備

◆社会資本整備総合交付金事業(道改)◇111,187千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金53,500千円 地方債48,100千円 一般財源9,587千円)
町道02-011号線本佐倉地先他3路線について、道路改良を実施するため、測量、設計、工事、用地購入を行います。

◆社会資本整備総合交付金事業(交安)◇77,630千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金24,750千円 地方債36,900千円 一般財源15,980千円)
町道02-009号線酒々井地先の通学路の歩道及び無電柱化整備を実施するため、工事を行います。



町道の維持管理

◆社会資本整備総合交付金事業(道維)◇42,000千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金18,750千円 地方債16,400千円 一般財源6,850千円)
酒々井町道における路面性状調査、橋梁長寿命化修繕事業を行います。

◆道路維持事業◇52,456千円(まちづくり課)

(財源：一般財源25,386千円 その他27,070千円)
道路交通の安全性を確保するため、舗装補修等、町道の年間を通じた維持管理事業を行います。
また、生活道路の狭小部において、利用者の安全性と利便性を図るため、道路の局部改良を行います。

◆駐輪場事業◇16,573千円(まちづくり課)

(財源：一般財源9,404千円 その他7,169千円)
京成酒々井駅、JR酒々井駅前及び南酒々井駅前の自転車等駐車場の管理を行います。



公園の管理

◆総合公園管理事業◇

15,719千円（まちづくり課）

（財源：一般財源14,188千円 その他1,531千円）

総合公園の施設管理業務を行います。

*植栽及び施設維持管理等を行います。

◆街区公園管理事業◇

26,970千円（まちづくり課）

（全額一般財源）

街区公園の施設管理を行います。

*植栽及び施設維持管理、遊具更新等を行います。



目標5 にぎわいと活力にみちた魅力あるまちづくり

(産業経済)

農業振興

◆農業振興管理事業◇

20,297千円(経済環境課)

(財源：国県支出金2,200千円 一般財源18,094千円 その他3千円)

農産物の生産振興のため、ふるさとまつり実行委員会や植物防疫協会などの団体に対し補助金等の交付を行います。また、イノシシ等の有害鳥獣被害防止対策に取り組みます。

◆農業基盤整備事業◇

7,469千円(経済環境課)

(財源：国県支出金790千円 一般財源6,611千円 その他68千円)

農業・農村の有する水源の涵養・自然環境の保全等の多面的機能の発揮のため、農用地・水路・農道等の地域資源の保全管理を行う地域団体に対して多面的機能支払交付金を交付します。

◆生産調整推進対策事業◇

3,455千円(経済環境課)

(財源：国県支出金460千円 一般財源2,995千円)

生産調整協力者に奨励補助金の交付及び経営所得安定対策の推進のため地域農業再生協議会へ補助金の交付を行います。

◆地域向上対策事業◇

1,088千円(経済環境課)

(財源：一般財源900千円 その他188千円)

地域住民の生活の充実、文化の向上及び社会活動を推進するため、農産物加工等を行える生涯生活センターの管理運営を行います。

◆林業管理事業◇

1,052千円(経済環境課)

(財源：譲与税907千円 一般財源144千円 その他1千円)

森林整備等に必要なる財源に充てるため令和元年度に創設され、国から町に譲与される森林環境譲与税を、将来の活用に備えて基金に積み立てます。



商業・工業の振興施策

◆商工一般事務費◇

4,450千円（経済環境課）

（全額一般財源）

- ・安全な消費生活のために、悪質商法、契約に係るトラブルなどに関する相談について、毎月4回、消費者相談員による相談受付をしています。
- ・地域コミュニティ維持活動やまちづくりへの積極的な参画など商工業の振興を図る事業を行う町商工会に対し補助金の交付を行います。
- ・平成29年10月に施行した「酒々井町産業振興基本条例」に基づく「酒々井町産業振興推進会議」を開催し、各産業分野の方々の意見をもとに、町の産業振興についての今後の在り方について議論します。

*消費生活相談費	451千円
*町商工会事業補助金	3,800千円
*産業振興推進会議	169千円

◆商工業振興費◇

4,016千円（経済環境課）

（財源：一般財源1,016千円 その他3,000千円）

- ・地域の活性化や若手後継者育成などの振興を図る事業（商工会夏まつりなど）を行う町商工会に対し補助金の交付を行います。
- ・企業が経営上必要とする事業資金の調達を円滑にするために資金の融資及び利子補給を行い企業の振興を図ります。
- ・酒々井町企業立地促進条例及び「酒々井町企業立地のご案内」を活用し、優良企業の立地を促進します。



地方創生関連事業

◆IT活用・販路開拓等支援事業◇

2,000千円（経済環境課）

（財源：国庫支出金1,000千円 一般財源1,000千円）

- ・町内小規模店舗等をはじめとした既存事業者のIT活用推進とあわせ、販路開拓や新規創業など、事業者の生産性向上に向けた取り組みに対する支援事業を行う町商工会へ補助金を交付します。

◆観光事業◇

4,993千円(経済環境課)

(財源：国庫支出金1,320千円 一般財源3,673千円)

- ・町の特産品をJR酒々井駅のケースディスプレイに展示します。
- ・町外で開催されるイベント等へ積極的に参加し、外国人観光客を含めた町への誘客を図ります。
- ・平成28年度に導入した観光客向け公衆無線Wi-Fiの維持管理を行います。
- ・観光パンフレット「ことりつぶ酒々井」を増刷します。

地方創生関連事業

◆まち歩きアプリケーション制作事業◇

5,500千円(経済環境課)

(財源：国庫支出金2,750千円 一般財源2,750千円)

平成30年度に制作した「酒々井町まち歩きアプリケーション」に3DCG等を追加し、町の魅力向上を図ります。

◆コミュニケーションセンター事業◇

7,487千円(経済環境課)

(全額一般財源)

酒々井プレミアム・アウトレット内の「酒々井コミュニケーションセンター」において、訪れる方に町の観光物産等に関する情報を広く提供することにより、町のイメージアップと誘客を図ります。

◆コミュニティプラザ運営事業◇

16,299千円(経済環境課)

(財源：一般財源10,875千円 その他5,424千円)

コミュニティプラザには、大広間、浴室、多目的ホール等があり、健康増進や憩いの場として町民に利用されています。(予約申込は1か月前から電話予約可能)

【コミュニティプラザ】

利用時間：9：00～21：00(浴室11：00～8：00)

休館日：年末年始(施設等点検のため臨時休館あり)

利用料：大広間 1時間当たり 600円(夜間900円)

会議室 1時間当たり 200円(夜間300円)

浴室 1人当たり 100円(夜間150円)

多目的ホール

全面利用 1時間当たり 1,000円(夜間1,500円)

片面利用 1時間当たり 500円(夜間 750円)

※夜間料金は、午後5時から利用の場合です。

※町外の方は、料金が異なります。

◆ハーブガーデン運営事業◇

3,485千円（経済環境課）

（全額一般財源）

酒々井コミュニティプラザに隣接する酒々井ハーブガーデンの運営を行い、「ハーブのまち酒々井」のPRとあわせ、憩いの場の提供や、観光施設としての魅力向上に取り組みます。



◆まるごとしすい運営事業◇

12,396千円（経済環境課）

（財源：一般財源11,876千円 その他520千円）

「まるごとしすい」において、定期的なイベント等の開催により、アウトレット利用者呼び込み、特産品等のマーケティング、中小企業・小規模事業者への新たな特産品等の開発や販路の確立等の相談支援に取り組みます。

併せて、酒々井プレミアム・アウトレットの集客効果を活かすため、町の観光物産等を展示紹介する情報発信コーナーを設置し、町のイメージアップと街中への誘客を図ります。

目標6 町民と共に築く心がかよう持続可能なまちづくり (地域社会と行財政)

町民参加・協働施策

◆公園等愛護活動推進事業◇

3, 222千円 (住民協働課)

(全額一般財源)



町が管理する都市公園等について地域住民が主体となって実施する環境美化活動及び施設の保全維持管理活動を支援します。

また、花植を行う3名以上で構成された団体に、年2回以内で花苗を支給する「花いっぱい運動」を行います。

◆資材等支給事業◇

2, 410千円 (住民協働課)

(全額一般財源)

地域住民等が自ら施工する生活環境の整備工事等について、住み良い住環境整備の推進及び地域住民等の連携を図るため、必要な資材等の支給を行います。

◆まちづくり研究所事業◇

1, 240千円 (住民協働課)

(全額一般財源)

酒々井町の住民参加・協働のまちづくりを推進するため、時代の変化に即した地域課題解決や新たな町の政策形成等に寄与する創造的なまちづくりの研究事業を行う拠点「酒々井まちづくり研究所」の運営補助を行います。

また、まちづくり実践者や指導者との学習及び研究の場としてのフォーラムの開催、まちづくり創年者の育成及び酒々井町の地域資源を活用した研究等を行います。

酒々井町独自

地方創生関連事業

◆100年安全・安心に住めるすいづくり事業◇7, 954千円 (住民協働課)

(財源：国県支出金1, 613千円 一般財源6, 341千円)

酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業として、100年安心して暮らせるまちづくりを推進するため「ICT (情報通信技術) を活用した情報共有による安全・安心なまちづくり」として、町と住民等の行政情報及び地域情報を共有できるGIS (地理情報システム) を活用した住民の安全安心のまちづくりを目指します。

コミュニティ施策

◆地区集会所等補助事業◇

2,720千円（住民協働課）

（全額一般財源）

地域住民の自治活動の場としての集会所等の維持・管理等に要する経費に対して補助金を交付し、地域コミュニティ活動の推進を図ります。

◆自治振興事業◇

7,300千円（住民協働課）

（全額一般財源）

区・自治会など住民自治の振興を図るとともに、行政の円滑な運営と町民福祉の増進を図るために助成金を交付します。

人権推進事業

◆人権推進一般事務費◇

756千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金224千円 一般財源532千円）

様々な人権問題の解決を目指し、あらゆる差別の撤廃と人権尊重の意識を高めるため、啓発活動を行います。

人権教育の一環として、小・中学生を対象とした人権教室の実施、町内の小学生が描いた人権啓発ポスターの展示を行います。

また、人権週間（12月4日から10日まで）には、人権をテーマとした講演会、広報車による巡回啓発、街頭啓発を行います。

酒々井町独自

◆隣保館運営事業◇

9,378千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金4,011千円 一般財源5,360千円 その他7千円）

地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の相談事業や人権課題解決のため各種事業を行います。

さらに、隣保館利用者と地域住民との交流をより深めるために、隣保館まつりを開催します。

【基本事業】

*相談事業：就労に関する情報提供、生活相談（随時） *啓発事業：人権ふれあい講座（年2回）

*地域交流事業：高齢者音楽健康教室（月2回）、フラワーアレンジメント教室（月1回）、

親子ふれあい教室（月1回）

【特別事業】

- *隣保館デイサービス事業：生きがいデイサービス事業
- *地域交流促進事業：料理教室（年3回）

【自主サークル活動】

- *カラオケ同好会、大正琴、ダンス等

町、議会からのお知らせ

◆議会広報事業◇

6,999千円（議会事務局）

（全額一般財源）

より開かれた議会を実現するため、議会だよりの内容を充実させるとともに、正確な記録の管理、正確な情報伝達を図り、インターネット上に会議録や本会議の中継動画を公開することにより、議会を傍聴できない方にも配慮した情報公開に努めていきます。

*議会だより作成事業（1,449千円）

町民に議会活動を周知します。（年4回）

*会議録作成事業（1,122千円）

議会定例会・臨時会ごとに会議録を作成し、ホームページで公開します。

*議会中継事業（1,514千円）

インターネットによる議会中継を配信します。

*議場設備事業（2,914千円）

議場放送設備等リース・保守を行います。

◆広報広聴事業◇

6,165千円（企画財政課）

（財源：一般財源 5,845千円 その他 320千円）

町民がまちづくりに自主的に参加しやすいものとなるよう、行政情報の積極的な提供を通じて、町民と町との情報の共有と相互理解を深め、町民参加のまちづくりを進めるため、正確かつタイムリーな行政情報や町民参加の各種イベントなどを掲載した「広報ニューしすい」を毎月1回発行します。

また、まちづくりの取り組みや町の魅力について、若い人の目線で情報発信していくことを目的に「広報ニューしすい Young Eyes」を発行します。

企画一般施策

◆企画一般事務費◆

35,028千円(企画財政課)

(財源：一般財源 21,527千円 その他 13,501千円)

町マスコットキャラクター等を積極的に活用し、県内外の様々なイベントなどで酒々井町の施策や魅力等を町内外に広く情報発信するシティプロモーション活動を推進し、交流・関係人口増加や定住促進を図ります。

*印旛郡市広域市町村圏事務組合の管理運営等に係る負担金(6,600千円)

構成市町：成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、
白井市、富里市、栄町、酒々井町



◆まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業◆26,816千円(企画財政課)

(財源：国県支出金 13,408千円 一般財源 13,408千円)

(国の地方創生推進交付金を活用)

「酒々井町・まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標に基づいた施策等を積極的に実施・展開し、交流・関係人口増加や定住促進を図ります。

【国の地方創生推進交付金を活用した事業内容】

- ・酒々井の伝説ものづくり事業(11,000千円)【再掲・生涯学習課】
昔の資産・記憶・民話等の地域の資源宝を整理、見える化の為のデータ化等により後世へ伝承するとともに、町内外へ発信し、交流・関係人口の増進を図る。
- ・日本で一番古い町の伝承の場づくり事業(3,266千円)【※再掲・住民協働課】
GISデータを整備し活用することで、町民の安全安心に暮らせるまちづくりを推進し、未来を担うこどもへ歴史・文化遺産等の伝承の場を確保する。
- ・日本で一番古い町の未来を担うひとつづくり事業(1,500千円)【※再掲・学校教育課】
町の歴史・文化遺産を将来の担い手となるこども達が学ぶためのシステム構築を図り、将来への伝承・継承への担い手づくりを推進する。
- ・酒々井のしごと産業づくり事業(2,000千円)【※再掲・経済環境課】
小規模店舗などの創業、IT等の活用促進などを推進するとともに、販路開拓等の補助を行い町及び企業の活性化に繋げる。
- ・酒々井のまつりを継続・伝承させるひとつづくり(2,000千円)【企画財政課】
酒々井のまつりを継続・伝承させるひとつづくりを実施し、郷土愛の醸成とともに、町に関心をもってもらい交流・関係人口等の増加につなげる。
- ・日本で一番古い町のシティプロモーション事業(1,000千円)【企画財政課】
イルミネーション事業を通して、町への交流・関係人口を増加させ世代を問わず交流することで地域の誇りを学び、町への郷土愛の醸成を図る。また、酒々井ふるさと大使を活用した積極的なシティプロモーションによる情報発信を強化し、インバウンドの取り込みを図る。
- ・酒々井スマートシティ推進事業(5,500千円)【※再掲・経済環境課】

歴史的遺産などをAR・VRとアニメなどを活用することでコンテンツデータとして見える化させ、整備し、情報発信することで交流・関係人口の増加及び郷土愛の醸成を図る。

- ・シティプロモーションナビゲーター事業（550千円）【企画財政課】

酒々井ふるさと大使を活用した積極的なシティプロモーションによる情報発信を強化し、東京オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンドの取り込みを図る。

※担当課の事業名とは異なります。



◆印旛広域水道事業◇

4,254千円（企画財政課）

（財源：一般財源4,254千円）

印旛郡市広域市町村圏事務組合が構成市町への水道用水の安定供給、効率的な事業運営やダム建設等を行うための経費に係る負担金及び出資金

*負担金：4,000千円

*出資金：254千円

情報の管理

◆情報化推進事業◇

34,223千円（総務課）

（財源：一般財源33,663千円 その他560千円）

高度情報化社会に対応した効率的な行政と住民サービスの向上を図るため、必要なハードウェアやソフトウェアの運用及び維持管理を行います。また、町ホームページを積極的に活用して町内外に広く情報を発信できるよう体制を強化します。



人事管理

◆総務一般事務費◇

27,513千円（総務課）

（財源：一般財源25,789千円 その他1,724千円）

総務一般事務費は、人事管理に要する経費、職員の福利厚生及び衛生管理に要する経費、職員研修に要する経費、秘書事務に要する経費、自治功労者表彰に要する経費などで構成されています。

なお、職員研修に要する経費については、職員の資質向上を図るため、各種研修施設での研修参加費用等を計上しています。

*市町村アカデミー研修

*千葉県自治研修センター研修

*印旛郡市市町村職員研修（印旛郡市広域市町村圏事務組合主催）等



庁舎管理事業

◆庁舎管理事業◇

353,281千円(企画財政課)

(財源：国県支出金85,502千円 地方債209,900千円 一般財源22,936千円
その他34,943千円)

役場中央庁舎は、災害対応を含め重要な業務を継続して実施していく必要があることから耐震補強工事を実施するとともに、来庁者の利便性と安全性の向上を図るため、エレベーターの設置とアスベストの除去工事や、老朽化対策工事等を実施します。

また、役場庁舎及び付帯施設の機能の維持及び執務環境の確保等を図るため、保守点検及び清掃等、庁舎の維持管理を行います。

戸籍・住民基本台帳事業

◆戸籍住民基本台帳一般事務費◇

38,890千円(税務住民課)

(財源：国県支出金5,171千円 一般財源27,017千円 その他6,702千円)

戸籍、住民票等の作成管理、住民の基本的な権利・義務の発生、国籍の確認、身分事項の変更等を正確かつ適正に管理し、住民サービスの増進を図ります。

税の確保

◆賦課徴収事業◇

63,122千円(税務住民課)

(財源：国県支出金27,718千円 一般財源31,822千円 その他3,582千円)

町税は、町民の皆様の幸せ、住みよいまちづくりのための財源として重要な役割を果たしています。そのため、賦課徴収事業では各種電算業務委託や課税客体調査業務等を実施し、町税の適正で正確な賦課と公平な徴収を行います。

相続人の存在・不存在が明らかでない土地等に係る課税上の課題へ対応するため、裁判所への財産管理人選任申立てを活用してこの問題の解決に取り組みます。

各特別会計、水道・下水道事業

【国民健康保険特別会計】

◆国民健康保険特別会計◇ 2,360,901千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金1,741,866千円 保険税447,531千円
一般財源171,504千円）

1 保険給付等（2,322,209千円）

相互扶助の精神に基づき、加入者が保険税を公平に拠出することにより、病気、けが、出産及び死亡による経済的な負担を補うための保険給付などを行います。

2 保健事業（38,692千円）

被保険者の健康増進並びに医療費の適正化を図るため、糖尿病などの生活習慣病の発病や重症化を予防し、メタボリックシンドロームの該当者などを減少させるため、特定健康診査及び特定保健指導を実施するとともに、病気の早期発見と早期治療に役立てるため、人間ドック費用の一部を助成します。

*特定健康診査・特定保健指導 10,366千円

*人間ドック費用の助成等 28,326千円



【介護保険特別会計】

◆介護保険特別会計◇ 1,346,759千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金439,699千円 一般財源204,202千円 その他702,858千円）

1 要介護認定事業

認定申請に基づき訪問調査及び介護認定審査会で審査判定を行い、要支援・要介護を認定します。

対 象：65歳以上の方、40歳以上64歳以下の方で老化が原因とされる病気（特定疾病）により介護が必要な状態の方

2 介護サービス等給付事業

要支援・要介護の認定者が訪問介護や通所介護などの介護サービスを利用した際、費用の7割～9割を保険給付します（自己負担は1割～3割で別に食事等の負担があります）。

3 介護予防・日常生活支援総合事業

（1）介護予防・生活支援サービス事業

要支援の認定者及び基本チェックリストの実施により、生活機能の低下が見受けられた方（事業対象者）を対象に、次のサービスを実施します。

ア 訪問型サービス

イ 通所型サービス



(2) 一般介護予防事業

高齢者が地域で継続して自立した生活を送れるよう一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援します。

また、地域で介護予防に取り組む活動を支援します。

ア 介護予防普及啓発事業

介護予防の普及・啓発や各種の教室を行います。

対象：活動的な状態にある高齢者

イ 地域介護予防活動支援事業

地域で自主的に介護予防に取り組むサークルなどの活動を支援するため、希望するサークルなどに講師を派遣するとともに、地域での介護予防を広げるために、しすいハート体操の普及および介護予防グループのリーダー養成を実施します。

また、65歳以上の方が介護保険施設でのボランティア活動を通じて地域貢献することで、高齢者自身の介護予防の推進と、いきいきとした地域社会づくりを目的とします。

4 包括的支援事業

高齢者が住み慣れた自宅や地域で自立した生活が継続できるよう、総合的な相談・支援を行います。

(1) 地域包括支援センターの運営

委託先：社会福祉法人 鼎 委託料：26,789千円

(2) 在宅医療・介護連携推進事業

(3) 生活支援体制整備事業

(4) 認知症総合支援事業

(5) 地域ケア会議推進事業

5 家族介護慰労金支給事業

重度の要介護の認定者を在宅で介護しているご家族を対象に、その精神的・経済的負担の軽減を図るために、慰労金（年額100千円）を支給します。

【後期高齢者医療特別会計】

◆後期高齢者医療特別会計◇

300,155千円（健康福祉課）

（財源：一般財源2,732千円 その他297,423千円）

75歳（一定の障害のある方は65歳）以上を対象とした後期高齢者医療制度について、千葉県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、窓口業務を適切に行います。

千葉県後期高齢者医療広域連合は、県内の54市町村が共同で組織する団体で、被保険者の認定、保険料の決定、医療の給付など制度の運営全般を行います。市町村が行う事務は、保険料の徴収や各種申請・届出の受付、保険証の発行又は交付などの窓口業務を行います。



【水道事業】

◆水道事業◇

764,998千円（上下水道課）

（財源：水道料金492,393千円、加入負担金14,691千円、分担金5,236千円、
内部留保資金等252,678千円）

水道事業は、地方公営企業法に基づき、水道施設を使った人から使った程度に応じて水道料金を負担していただく「受益者負担の原則」により、独立採算制で経営されています。

皆様のご家庭まで水を送り届ける営業活動の経費は、主に水道料金でまかなわれ、配水管の布設などに要する経費は、分担金等でまかなわれます。前者を収益的収支、後者を資本的収支として経理上区分しています。

【業務予定量】

・給水件数	9,184件
・年間総給水量	2,285,714 ³ m
・一日平均給水量	6,262 ³ m

【収益的収支】

・水道事業収益	559,496千円
水道料金	492,393千円
加入負担金	14,691千円
その他	52,412千円
・水道事業費用	429,153千円
営業費用	399,655千円
（量水器交換業務、浄水場運転管理業務、料金徴収業務、法定水質検査、動力費等）	
企業債利息	15,159千円
その他	14,339千円

【資本的収支】

・資本的収入	5,237千円
分担金	5,236千円
その他	1千円
・資本的支出	335,845千円
建設改良費	206,329千円
本佐倉地先配水管布設替工事	
尾上浄水場8号配水ポンプ増設工事他	
企業債償還金	127,516千円
その他	2,000千円

《詳しくは、上下水道課 電話 496-7725》

【下水道事業】

◆下水道事業◇

558,996千円（上下水道課）

財源：下水道使用料 342,630千円、企業債 2,700千円、国庫補助金 3,000千円、
一般会計補助金 10,415千円、留保資金等 200,251千円）

下水道事業は安定した下水道サービスを提供し、効率的で安定的な事業運営を行うため、企業会計方式を導入しています。

皆様のご家庭からの汚水を終末処理場へ排水する営業活動の経費は、主に下水道料金でまかなわれ、排水管の布設などに関する経費は、企業債や補助金でまかなわれます。前者を収益的収支、後者を資本的収支として経理上区分しております。

【業務予定量】

・接 続 戸 数	8,681戸
・年間総排水量	2,520,740m ³
・一日平均排水量	6,906m ³

【収益的収支】

・下水道事業収益	386,028千円
下水道使用料	342,630千円
その他	43,398千円
・下水道事業費用	451,948千円
営業費用	425,697千円

（汚水管清掃業務、ポンプ場及びマンホールポンプ維持管理業務、流域下水道維持管理費、料金徴収業務等）

企業債利息	13,158千円
その他	13,093千円

【資本的収支】

・資本的収入	16,438千円
企業債	2,700千円
補助金	13,415千円
	（国庫補助金 3,000千円、一般会計補助金 10,415千円）
その他	323千円
・資本的支出	107,048千円
建設改良費	34,350千円
舗装本復旧工事（尾上地区、本佐倉地区、飯積地区）	
不明水対策工事 他	
企業債償還金	71,697千円
その他	1,001千円

《詳しくは、上下水道課 電話 496-7725》